

専修大学大学院リカレント教育プログラム アジアから考える 持続可能な経済社会

～専修大学大学院履修証明プログラム～

令和7年度
開講

プログラムのテーマ

わが国でも SDGs への取り組みが広がり、社会や環境の持続可能性（サステナビリティ）への意識が高まっています。

そして、責任ある社会人世代には、持続可能性の問題に対する高い見識をもって、企業や地域で行動することが求められています。

このような動向に対応して、専修大学の現代アジア研究の成果を活かしながら、持続可能な経済社会のあり方を考えます。

20 世紀後半、グローバリゼーションが進展し、アジアの国々は、目覚ましい経済発展を遂げる一方、社会の激変による深刻な持続可能性問題に直面しました。専修大学では国際共同研究を推し進め、アジアの人々が、人と人の繋がりを強化するソーシャル・キャピタル（社会関係資本）と、そうした繋がりに得られる厚生と安心を意味するソーシャル・ウェルビーイング（社会的安寧）という2つの概念を共有することで、問題の解決を図ってきたことを明らかにしました。

これらの概念は、持続可能な経済社会を築くうえで、相互行為的な社会関係（人と人との関係）のあり方が重要であることを示唆しています。

海外からのオンライン講義を含むオムニバス方式の授業「特殊問題特論（アジアにおけるソーシャル・キャピタル／ウェルビーイング）」を履修し、アジア発の概念とその応用について学びながら、持続可能な経済社会のあり方についての見識を高めていきます。

養成する人材・育成する能力

本プログラムの目的は、社会・環境の持続可能性問題の解決に向けて有効な提案を構想することができる人材の養成にあります。

各自が関心をもつ国・地域における持続可能性の問題を社会関係の側面から検討する能力、現代アジアの諸問題をソーシャル・キャピタル／ウェルビーイングの概念を用いて意味づけ分析する能力、各自が関心をもつ国・地域について経済分析のみならず社会・政治・文化の側面も考慮に入れた総合的分析を行う能力の育成を目指します。

プログラムの編成

必修科目（1科目2単位）

特殊問題特論

（アジアにおけるソーシャル・キャピタル／ウェルビーイング）【前期】
【金曜日3限：13:05～14:35】

担当：飯沼健子 教授他（オムニバス）

選択科目（2科目4単位）【5科目10単位まで履修可能】

各自の関心分野に沿って持続可能な経済社会の検討を進められるよう、**開発とジェンダー、環境と社会の統治、労働・ケア・福祉国家、アジアの経済社会、アジア以外の諸国・諸地域の経済社会、日本経済の発展とアジア、制度・システムと政策**、等をテーマに含む経済学研究科の25科目の中から選択履修します。

～「専修大学大学院履修証明プログラム」とは～

社会人を対象とし、大学等の教育・研究資源を生かし、一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術の修得を目指した教育プログラムです。

目的・内容に応じ、60 時間以上の学修（本学大学院において科目等履修生として3 科目 6 単位以上の単位修得）を軸とし、通期（4月～翌年1月）ないし半期（4月～7月、9月～翌年1月）の学修成果により履修証明書が交付されます。また、科目等履修生として単位が授与されるため、将来において修士課程進学の際には、進学先研究科の教育課程に即したものであると認められる場合、15 単位を超えない範囲で認定することができます。

出願資格

学士の学位を有する者、又は本大学院においてこれと同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者（2025年4月現在）

募集人員

若干名

出願期間

令和7年2月25日(火)～3月4日(火)

選考方法

書類選考および口述試験

選考日

令和7年3月11日(火)～3月18日(火)の期間内に実施（詳細は出願時にお知らせ）

選考料

20,000円

登録料および履修料

登録料：20,000円 ※就学期間が前期のみ場合は、登録料が1/2となります。

履修料：90,000円（1 単位あたり 15,000円とし修了要件を満たす6単位相当の履修料）

※6単位を超えて履修する場合、1単位あたり 15,000 円を追加。

※システム利用料として別途 2,000 円がかかります。

プログラム開講研究科（開講キャンパス）

大学院経済学研究科（生田キャンパス）

専修大学大学院事務課（生田キャンパス）

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

TEL: 044-911-1271

https://www.senshu-u.ac.jp/education/graduate/recurrent/rs_student.html

要項等はコチラ



専修大学大学院リカレント教育プログラム

アジアから考える持続可能な経済社会

～専修大学大学院履修証明プログラム～

科目一覧

【必修科目】 ※以下の科目は必ず履修する科目です。

科目名(前期:4月～7月)	担当教員	単位数	令和7年度 開講曜時
特殊問題特論 (アジアにおけるソーシャル・キャピタル／ウェルビーイング)	飯沼健子 教授他 (オムニバス)	2	金曜3限 前期

【選択科目】 ※以下の科目から2科目4単位履修します。【履修料追加により5科目10単位まで履修可能です】

科目名(前期:4月～7月)	担当教員	単位数	令和7年度 開講曜時
社会政策特論Ⅰ(福祉政策研究のクリティカル・リーディングⅠ)	小池隆生 教授	2	月曜2限 前期
西洋経済史特論Ⅰ(近代イギリスの経済と社会Ⅰ)	永島剛 教授	2	月曜3限 前期
環境経済論特論Ⅰ(社会経済システムの持続可能性Ⅰ)	泉留維 教授	2	月曜4限 前期
国際経済論特論Ⅰ(アフリカの経済Ⅰ)	傅凱儀 准教授	2	月曜5限 前期
社会政策特論Ⅰ(労働組合論・労働運動史Ⅰ)	兵頭淳史 教授	2	水曜2限 前期
財政学特論Ⅰ(財政の制度的分析Ⅰ)	徐一睿 教授	2	水曜2限 前期
理論経済学特論Ⅰ(現代資本主義の位相Ⅰ)	宮寄晃臣 教授	2	水曜2限 前期
理論経済学特論Ⅰ(現代資本主義の構造と循環Ⅰ)	森原康仁 教授	2	水曜2限 前期
国際経済論特論Ⅰ(ラテンアメリカの経済Ⅰ)	狐崎知己 教授	2	水曜3限 前期
国際経済論特論Ⅰ(International DevelopmentⅠ)	飯沼健子 教授	2	水曜4限 前期
理論経済学特論Ⅰ(進化経済学とその応用Ⅰ)	西部忠 教授	2	水曜5限 前期
社会政策特論Ⅰ(社会運動論Ⅰ)	森啓輔 准教授	2	木曜2限 前期
社会政策特論Ⅰ(ケアの供給構造の変化と福祉国家・福祉社会論Ⅰ)	鈴木奈穂美 教授	2	木曜2限 前期
日本経済史特論Ⅰ(近代日本の経済構造Ⅰ)	永江雅和 教授	2	木曜2限 前期
西洋経済史特論Ⅰ(フランスの経済と社会Ⅰ)	齊藤佳史 教授	2	木曜4限 前期

科目名(後期:9月～1月)	担当教員	単位数	令和7年度 開講曜時
環境経済論特論Ⅱ(社会経済システムの持続可能性Ⅱ)	泉留維 教授	2	月曜4限 後期
社会政策特論Ⅱ(労働組合論・労働運動史Ⅱ)	兵頭淳史 教授	2	水曜2限 後期
財政学特論Ⅱ(財政の制度的分析Ⅱ)	徐一睿 教授	2	水曜2限 後期
理論経済学特論Ⅱ(現代資本主義の位相Ⅱ)	宮寄晃臣 教授	2	水曜2限 後期
国際経済論特論Ⅱ(ラテンアメリカの経済Ⅱ)	狐崎知己 教授	2	水曜3限 後期
国際経済論特論Ⅱ(International DevelopmentⅡ)	飯沼健子 教授	2	水曜4限 後期
理論経済学特論Ⅱ(進化経済学とその応用Ⅱ)	西部忠 教授	2	水曜5限 後期
社会政策特論Ⅱ(社会運動論Ⅱ)	森啓輔 准教授	2	木曜2限 後期
日本経済史特論Ⅱ(近代日本の経済構造Ⅱ)	永江雅和 教授	2	木曜2限 後期
社会政策特論Ⅱ(福祉政策研究のクリティカル・リーディングⅡ)	小池隆生 教授	2	—

1 限… 9:00～10:30 前期…4月～7月(合計15週)
 2 限…10:45～12:15 後期…9月～1月(合計15週)
 3 限…13:05～14:35
 4 限…14:50～16:20
 5 限…16:35～18:05

※「—」は令和7年度休講

専修大学大学院事務課(生田キャンパス)
 〒214-8580
 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1
 TEL: 044-911-1271
https://www.senshu-u.ac.jp/education/graduate/recurrent/rs_student.html

要項等はコチラ

